

すべての町民の暮らしを応援します

●編集・発行／佐用町立図書館 〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地
Tel : 0790-82-0874 Fax : 0790-82-0313 E-Mail : toshokan@town.sayo.lg.jp

Book Review

図書館司書おすすめの一冊



『〈洗う〉文化史 -「きれい」とは何か』

国立歴史民俗博物館・花王株式会社／編
吉川弘文館 2022年

本書は、わたしたちの日常生活に根づいている〈洗う〉という行為を、複数の研究者が古代から現代にいたるまでのさまざまな文献や絵画、民俗資料の事例をもとに分析し、日本人にとって「きれい」とは何かを考え、今に繋がる日本人の清潔志向の根源を探ったものである。

〈洗う〉とは、単に目に見える汚れを取り除き、洗浄性を保つという意味だけにとどまらない。〈洗う〉という行為の対象は、「身体性」と「精神性」のふたつが密接な関係を持っている。ありていな言葉で言えば、「体をきれいにすることで、心を整える」ということだ。奈良時代、現代の役所にあたる写経所で働く下級の官人たちは、仕事が仏事に関わることであるため、写経に取りかかる前に沐浴をして身体を洗い清めていた。

また、〈洗う〉という行為は、差別意識にも影響していた。「きれい＝文化的・近代的」という偏見から、植民地に対する軽蔑や女性への軽視が存在していた。「洗う」という行為が特権的なものであったという歴史や、政策によって推進された価値観であったことも記されている。

汚れと穢れを生み出すのが人間の生命活動にほかならないが、洗い清める行為と技術は人間を心身ともに生き返らせる営みでもあったという。本書を通して、日本人の〈洗う〉という行為の奥深さを感じるとともに、誰にも支配されず自分の意思で自由に行える毎日の入浴や手洗いがいかに恵まれているかということに気づく。新型コロナウイルスに翻弄され、衛生環境に敏感な今だからこそ、ぜひ手にとってほしい一冊。(矢内)

5月 皐月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1 ●	2	3	4	5 ★	6	7 ○
8 ●	9	10	11	12	13	14 ○
15 ●	16	17	18	19	20	21 ○
22 ●	23	24	25	26	27	28 ○
29 ●	30	31				

○印…おはなし会14:00～
●印…おはなし会10:30～、11:00～
★印…こどもの日のおはなし会
①11:00～、②14:00～

6月 水無月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

※館内整理日による休館
5月31日(火)、6月30日(木)
※祝日による休館
5月3日(火)、5月4日(水)、
5月6日(金)…5月5日の振替

■色の日は休館日です。
開館時間／午前10時から午後6時

《お知らせ》

よむよむビンゴ開催中!

5/29までの貸出本が対象です。
参加年齢:4歳から中学生
ビンゴカードは
図書館カウンターにて配布中。
カードのマスがぜんぶ埋まったら
館長から表彰状をお渡しします。
※表彰式:6/19(日)11:30～

こどもの日のおはなし会

日時:5/5(木・祝) ①11:00～
②14:00～
場所:さよう文化情報センター
対象:4歳以上(保護者可)
内容:絵本の読み聞かせや
簡単な紙工作をします。
※申し込み不要。

『うえきやのくまさん』

フィービとジョン・ウォージントン／さく・え
まさき るりこ／やく
福音館書店 1987年



あるところ
に植木屋のく
まさんがいま
ました。朝にな
るとくまさん

はエプロンをかけ、手押し車に植木ばさみとほうきを積みこみます。ある朝、庭の手入れをするためお隣に出かけました。垣根や高い木を刈り込んだり、芝刈りをしたりして、仕事が全部すむと500円もらい、1こ、2こ、3こ…とエプロンのポケットにしまいました。お昼ご飯を食べた後は、自分の家の畑へ出かけ、手押し車いっぱい野菜や花を積み込むと、門の前に並べました。売り切れてしまうと、手押し車を物置にしまい、手を洗います。晩ご飯を食べ終えたくまさんは、すっかりくたびれて、すぐにぐっすり眠ってしまいました。

素朴な絵と明るい色あいで、働くくまさんの一日が細やかに描かれています。庭木の手入れや野菜を売る姿が微笑ましく、ほのぼのとした様子が伝わってきます。読んであげるなら3歳から。「くまさんシリーズ」の4作目。(中尾)

『走れ、走って逃げろ』

ウーリー・オルレブ／作
母袋 夏生／訳
岩波書店 2015年



ナチス政権下のワルシャワでスルリックは、ユダヤ人強制居住区で家族と生き別れになった。孤児の仲間に入り、物乞いや空き家の屋根裏で寝たりする生活に

慣れたころ、ユダヤ人狩り集めと自動車による移送が始まる。靴屋のヨイネに逃げろと言われ、荷馬車にもぐりこんだスルリックは、銃剣で突かれ見つかろうになったところを農夫に助けられ、ユダヤの子どもたちと森で暮らすことになる。日が暮れると農家の納屋に泥棒に入り、野鳥を捕まえて空腹を満たしていた。ある時、ドイツ兵に追われジャガイモ畑に隠れたスルリックは、父と再会する。父は「名前を変えて生きろ」と言い残し、息子を救うため自らドイツ兵に姿をさらす。スルリックは、ユレクと名前を変え、次々と襲いかかる危険から生き延びるために、過去の記憶をうしなっていく。ある日、ユレクは脱穀機につぶされた右腕の手術を若い医師にユダヤ人だからと拒絶され、右腕の切断を余儀なくされる。それでもユレクは修道女に励まされ明るく、前向きに農家の仕事をこなして生き抜いていく。

実在の人、ヨラム・フリードマンの子ども時代の体験をもとに、ユダヤ狩りをかいくぐる過酷な逃亡生活が克明に描かれている。ユダヤ人としりながらも匿ったり見逃してくれる人々に出会う度に救われ、絶えず追われる命がけの日々を「生きよう」とするユレクの強い意志とひたむきさを感じる。(水鳥)

Information

南光図書室月曜休館のお知らせ

2022年4月1日から
南光文化センターの月曜休館に伴い、
南光図書室も月曜休館になりました。
休館日：月曜日、国民の祝日、年末年始
ご利用の際はお気をつけください。

あそばせ隊 おはなし会
毎週土曜日／14:00～14:30
幼児・小学生対象

図書館 おはなし会 毎週日曜日
小さい人(5歳以上)／10:30～11:00
5月のおはなし
「かにかに、こそこそ」(『ホットケーキ』東京子ども図書館)
大きい人(小学3年生以上)／11:00～11:30
5月のおはなし
「岩じいさん」(『子どもに聞かせる世界の民話』実業之日本社)
★マスクを着用して参加してください★
※いずれも図書館おはなしコーナー 事前申し込み不要